

Population 人のうごき (福智町の人口)

●人口 20,741人
前月比-8人
前年比-275人
男性↑9,925人
女性↑10,816人
転入62人・転出39人
出生7人・死亡38人
●世帯 11,046世帯
前月比 0世帯
前年比-50世帯
※令和7年6月1日現在(住民基本台帳人口)



(お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長
— 帛電はひかえさせていただきます —)

Tax おさめて安心 (税の納期限)

- 固定資産税 [2期] 7月31日 困
- 国民健康保険税 [1期] 7月31日 困

Event テクホー net (近隣の催し)

【田川市】開戦84年チェン・チンヤオ(陳肇權)展
7月12日 国~8月31日 回 (田川市美術館)
一般:800円(700円) 高大生:400円(300円)
小中生:200円(100円) 未就学児無料
戦う少女の姿にアジア諸国間の政治情勢を投影したユニークな絵画、映像作品を手がける台湾出身の美術家チェン・チンヤオ。彼の「祖父は自分を「日本人」父は「中国人」と思っていたが私は「台湾人」という言葉に台湾の歴史が凝縮されています。開戦から84年、終戦80年の節目を迎える今夏は、第二次世界大戦以降から現代にいたるアジアの歴史、政治、文化の問題を台湾人作家の視点から振り返ります。
📍 田川市美術館 ☎ 42-6161

【赤村】赤村トロッコ油須原線
7月13日 回 10時~16時
(平成筑豊鉄道赤駅前)
大人600円 / 子ども300円 (小学生以下)
📍 赤村役場(平日昼間のみ) ☎ 62-3000



← ボランティアスタッフが募集中。

Medical health

保健の掲示板
7月16日から8月15日までの保健事業日程

- **7月18日 金【健康相談】**
健診結果や介護など相談希望者を対象
[会場] 役場 2階相談室 [受付] 13:30~15:30
📍 保険健康課 健康係 ☎ 22-3518
- **7月23日 水【1歳6か月児健診】**
1歳6か月~1歳8か月児を対象(個人通知します)
[会場] 金田保健センター [受付] 13:00~14:00
- **7月30日 水【4~5か月児健診】**
4か月~5か月児を対象(個人通知します)
[会場] 金田保健センター [受付] 13:00~14:00
- **8月6日 水【7~8か月児健診】**
7か月~8か月児を対象(個人通知します)
[会場] 金田保健センター [受付] 13:00~14:00
- その他、お子さんの身体計測・育児相談などを希望する際は、事前にご連絡ください。
- 📍 こども課 こどもすこやか係 ☎ 22-3700

Medical Checkup

【マダニによる感染症に注意しましょう】
重症熱血小板減少症候群

マダニは春から秋にかけて活動が活発になり、野生動物が生息する環境のほか、民家の裏山や裏庭、畑などにも生息していることから、特に屋外でのキャンプやハイキング、農作業や草刈り、山中での作業時には注意が必要です。マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けてください。



野外では腕・足・首など肌の露出を少なくする。



上着や作業着は家の中に持ち込まない。

📍 保険健康課 ☎ 22-3518

「熱中症」

に気を付けましょう。

熱中症とは、高温多湿な環境下で発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態のことです。室内でも発症し、重症化すると命にかかります。正しい知識を身につけ、健康被害を防ぎましょう。熱中症予防には、危険度を示す「暑さ指数」を参考に、段階ごとに生活・運動目安を取り入れましょう。



↑熱中症予防サイト



熱中症を予防する3つのポイント

水分補給をする



のどが渇いてなくても、こまめに水分補給をしましょう。出かけるときは、水筒などで飲み物を持ち歩き、すぐに水分を補給できるようにしておきましょう。

エアコンを使用する



最近では、屋外だけでなく「室内熱中症」も増加しています。気温や湿度の高い日には、我慢せず、適度にエアコン等を使用しましょう。

規則正しい食事と睡眠



熱中症を予防するためには、暑さに負けない体作りが必要です。そのため日頃から規則正しい食事と睡眠で暑さに強い体を作りましょう。

補足 屋外活動やスポーツをするときには経口補水液を

屋外活動やスポーツをする時などたくさんの汗をかくような場合は、体内の電解質(ナトリウムやカリウム)が失われていきます。そんなときに水やお茶だけを摂取すると、体中の電解質濃度が薄まってしまい濃度を一定に保とうとする体の働きによって、大量の水分を尿として体の外へ出してしまいます。その結果、水分を補給しているのに脱水状態になってしまう可能性があるため、注意が必要です。たくさん汗をかいているときは、経口補水液を摂取しましょう。

小児救急医療電話をご利用ください。

「今夜は様子を見ようかな」「やっぱり心配だなあ すぐ診てもらったほうがいいのかなあ」など、お子さんの病気やケガで受診を迷ったときは「小児救急医療電話」を利用しましょう。

短縮ダイヤル: # 8000 ☎ 092-731-4119
平日: 19時~翌朝7時 土曜: 12時~翌朝7時 日祝: 7時~翌朝7時

救急医療電話相談

在宅療養中の高齢者のかたなど、急な病気やケガで医療機関の受診に迷ったときは「救急医療電話相談」に相談できます。

短縮ダイヤル: #7119
☎ 092-471-0099 (24時間受付・年中無休)